

議会だより



美郷がいちばん、すきです美郷

子供たちは町の宝物 / 金沢小学校の全児童が明日に向かってジャンプ!

第 **12** 号
2007.7.17

子どもたちのために決議する	6月定例会概要	2
羽貫谷地簡易水道いよいよ着工	主な質疑	4
3名が町政を問う	一般質問	6
議員全員で執行状況を確認	町内事業視察研修会	10
ジェンコが飛び交うモノポリー	キラリ美郷人	12

▼
主な内容
▲

6月定例会

子どもたちのために



みんなの笑顔を守りたい

6月定例会を、6月12日から15日までの4日間の会期で開きました。

今定例会では、金沢長岡森住民から提出された陳情『長岡森集落地内にモーテル建設反対陳情のこと』を本会議で審査し、全会一致で採択して『モーテル類似旅館建設反対に関する決議』を可決しました。

決議する

モーテル類似旅館建設反対に関する決議

秋田県仙北郡美郷町金沢字西長岡森地内に、モーテル類似旅館（ファミリー型コテージ風ホテル）の建設が計画されております。

この地域は、平成の大合併秋田県第1号として誕生した美郷町の南玄関口に位置し、緑豊かな公園、湧水群、温泉、寺院など町の観光スポットや伝統行事を訪れる方々の町に対するイメージが損なわれることは、明らかであります。

また、建設が予定されている場所は、地域の教育文化の中心としての美郷町立金沢小学校があり、学校周辺での校外活動の機会も多く、子供たちの心身の健全な成長に与える影響が憂慮されます。美郷町の次世代を担う子供たちにとって、美郷がいちばん住みやすいと思える環境をつくるのが、私たちの責務であります。

よって、美郷町議会は、住民の意見を代表し、美郷町金沢字西長岡森地内に計画されている、モーテル類似旅館（ファミリー型コテージ風ホテル）の建設に断固として反対する。

以上、決議する。

平成19年6月15日

美郷町議会

清純な生活環境維持が目的

美郷町では、平成18年6月、町の善良な風俗が損なわれないようモーテル類似旅館の新築または改築を規制し、清純な生活環境を維持することを目的とする『モーテル類似旅館規制条例』を制定しました。

しかし、同年8月2日、大仙市の住民からファミリー型コテージ風ホテル建設の確認申請書が窓口を持ち込まれました。

これを受け、モーテル建設を反対する行動として、PTA連合会の嘆願書や長岡森住民の要望書が町に提出されました。

町では、条例に基づく『モーテル類似旅館規制審査会』を3回に亘り開催し、8月17日、不同意決定を町長に答申しました。翌18日、町はこの決定を建築主へ通知しています。

10月25日、一連の美郷町の対応により建築が遅れ損害を被ったとする訴状が秋田地方裁判所に提出されました。現在まで、4回の公判が開かれています。

一般会計

空き店舗対策予算を補正

平成十九年度一般会計補正予算では、歳入・歳出それぞれに5千511万2千円を追加し、補正後の予算総額を110億2千209万9千円としました。

補正の主な内容は、空き店舗対策事業補助金375万5千円、国の制度改正による児童手当の増額1千894万円、4月に行われた人事異動による人件費の調整などです。

その他今定例会では、5特別会計の補正予算や簡易水道設置条例の一部改正案など16議案を審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、一般質問は3氏が登壇して町政をただし、陳情6件を採択しました。

6月定例会主な質疑

羽貫谷地簡易水道いよいよ着工

●簡易水道設置条例の一部改正

水量は十分か

武藤威議員

新たに事業着工する羽貫谷地地区水道水源となる畑屋簡易水道の加入率と水量について伺う。

建設課長

畑屋地区の加入率は、55・5%羽貫谷地地区は、84・3%である。

人口は現在650名ほどだが計画の給水人口は1千071人としてい

る。給水量は両地区合わせて現在の197tが399tになるが、最大給水量は416tなので十分対応できる。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
熊谷良夫議員
羽貫谷地地区水道の着工時期は。

建設課長
十九年度で設備関係の工事を終え、二十年度は管工事、約3千9mを完了させ、できるだけ早く供用開始したい。

●一般会計補正予算

空き店舗対策の内容は

【商工振興費】

齊藤新一郎議員

空き店舗対策事業補助金についてPRをしているか。補助対象となる設備の内容は。

商工観光課長

商工会を通じてPRしている。内容は店舗の改装費と2年間の賃借料に

ついて補助をする。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
中村美智男議員
今回3店舗分の予算計上となっているが。

上となっているが。

商工観光課長

六郷地区の3件の空き店舗で、それぞれ新たに操業するものだ。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

鈴木一議員

対象となる空き店舗の場所と店舗の内容は。

商工観光課長

「湧太郎」に
2店舗と旭町に
1店舗操業の予定だ。

【外国青年招致費】

吉野久議員

①ALTの2

人体制だが、ジェットプログラムから離れて民間から招致するメリットは。②2人で3中学校と小学校に対応



8月からこれまで3人のALTが2人体制となります。
※ALT（英語指導助手）

できるのか。③移動の際の事故防止対策と、ボランティアでの英会話教室はどうなるか。

学務課長

①英語の指導力はもちろんだが、日本語能力など人材を選択することができる事が一番のメリットだ。②各中学校の1、3学年までの英語の授業は105時間だがALT

の入るのはその半分ぐらいの時間だ。小学校は総合学習の中での取り組みなので、各学年年間50時間ぐらいの利用であり、2人でも対応できる。③今回は派遣する会社の責任で対応して頂く内容だ。ボランティア活動については来られる方と話しをしながら進めたい。

人権擁護委員に
現委員の東海林鉄
郎さん（美郷町金
沢）を推薦するこ
とに同意しました。



陳情・請願

採択しました

- 「日豪 EPA・FTA 交渉に対する」陳情書
食と水・みどりを守る大仙仙北労農市民会議
議長代行 山崎 康夫
- 「非核日本宣言」を求める意見書の採択を求
める陳情
原水爆禁止秋田県協議会
理事長 斎藤 重一
- 原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に
求める意見書についての陳情
原水爆禁止秋田県協議会
理事長 斎藤 重一
- 県に「『子育て新税』を導入しないで下さい」
の意見書を求める陳情書
新日本婦人の会 秋田県本部
代表委員 地主あや子
- 長岡森集落地内にモーター建設反対陳情のこと

美郷町金沢長岡森集落代表
加藤 義男
- 安心・安全な公務・公共サービス拡充を求め
る陳情
秋田県公務公共業務共闘会議
議長 佐藤 憲雄

提出議案一覧

- 議案第39号
人権擁護委員の推薦につき意見を求める
ことについて
- 議案第40号
字の区域の変更について
- 議案第41号
財産の取得について
- 議案第42号
美郷町簡易水道設置条例の一部改正につ
いて
- 議案第43号
公の施設を横手市が保育を実施する児童
に使用させることに関する協議について
- 議案第44号
平成19年度美郷町一般会計補正予算第2
号
- 議案第45号
平成19年度美郷町老人保健特別会計補
正予算第2号
- 議案第46号
平成19年度美郷町簡易水道事業特別会
計補正予算第1号
- 議案第47号
平成19年度美郷町下水道事業特別会計
補正予算第1号
- 議案第48号
平成19年度美郷町農業集落排水事業特
別会計補正予算第1号
その他報告3件、発議6件

議会の動き

11日	10日	6日	7月	28日	15日	14日	12日	5日	6月	25日	11日	5月
議会全員協議会	議会第5回臨時会											

一般
質問

町政を問う

3名が登壇



質問者

武藤 威 議員
深沢 義一 議員
中村 利昭 議員

定例会初日の6月12日、町長の召集挨拶の後一般質問がおこなわれました。
内容は、国保税や農業問題、観光振興などについて、町長の姿勢をただしました。

国保税の負担軽減を 現制度上難しい

武藤威議員 三位一体改革による税源移譲と定率減税の廃止が6月から地方税額に大きく影響し、住民税増額が国保税や介護保険料の負担増になる。それにより、国保税の滞納者が増え資格証明書の交付を受ける人が増えると予想される。

①資格証明書の交付を受けた人が受診を控える声も聞かれるが、本町での影響は。②国保税には、なぜ上限をもうけるのか。③団塊世代の大量退職で適用者が増えると思う。対象となる所得水準と、人数は。④福祉の増進を図るべき自治体の責務から、県補助の増額と、町の一般会計から繰り入れを要求する。⑤申請減免のPRを町、担当課に求める。

付するが、一律適用ではない。これまで督促や納付指導を行っているが交付せざるを得ない方々もいる。引き続き納付に向け取り組む。直接調査はしていないが町では、質問のような影響は出ていないものと考ええる。②国保税の上限は国の制度に基づき設定なので答弁できない。③退職された方々の個々の事情により、必ずしも国民健康保険に加入されるわけではないので、加入者およびその所得水準の数値を把握することは困難だ。④保健事業の経費は法律で認められる範囲の中で町も毎年度一般会計から繰り入れを行っている。県一般会計からの補助も、新たな観点での町の一般会計からの繰り入れも現在の制度運営の中では難しい。

⑤申請減免のPRは今年度も町広報7月号や、8月号でこれら制度の周

知を図りたい。

子育て税に

反対する

武藤議員 地方交付税の三割削減を前提にした財源計画こそが無理難題だ。三割も削減されたら多数の自治体が維持できない。地方自治や交付税制度を無視した「地方自立」論、地方の事は地方でと、だから新たな税金を取って子育てを充実させるなどということとは、現状を無視した暴論としか私には思えないが町長の考えは。

町長 子育て税については、目指す姿に現在何が不足し将来何を充実させる

のか議論し、新たな負担の意義を整理することが大切と考える。

地方交付税は三位一体改革により厳しい状況だ。自主財源の少ない美郷町は、地方交付税に頼らなければならぬ財政状況で、この削減は行政運営に多大な影響をおよぼす。そのため町では各般の施策などについて見直し作業をしているが、必要な地方交付税の総額を交付するよう、国に要望する。



武藤 威 議員

農作業賃金・料金 根拠は

武藤議員 米価も下がる一方で、採算上から見ても米づくりの転換期ではと考える。集落営農組織づくりも進み、今回どのような話し合いで決まったのか伺いたい。

蒔野農業委員会会長 農作業賃金・料金の決定は、耕地面積、農機具の馬力や性能、近隣市町村の賃金・料金を参酌し、J Aおよび関係機関との連携を図って決定している。



美郷農業の望ましい形態は 担い手が牽引する体制



深沢義一議員 戦後農

政の一大改革とも言われる水田農業政策に対しては、当町でも多数の集落営農組織が誕生するなど、厳しさ増す農業情勢に対応しようとしているところである。

今後は、町としてリーダーシップを取りながら、健全な経営・組織運営に對してのバックアップが必要と考え。町として美郷農業の望ましい形態をどのように考える、どのような支援を講じていくのか。

町長 町内では、新たに

59の営農組織が設立されるなど効率的で持続的な農業経営体を目指した取り組みが着々と進んでおり、さまざまな環境変化や、ニーズに対応できる強さを備えた担い手が地域農業を牽引していく体制になることが必要と考えている。

そのため、担い手育成に向けた施設整備や農用地利用調整、あるいは栽培技術への支援など、可能な範囲で継続するよう努める。また、持続的な経営を目指しての経営指導についても、県や農業団体と一体となって支援していきたい。



深沢義一議員

畑地へのブランド助成を 生産対策として議論する

深沢議員 町ではブランド品目確立のため、さまざまな支援を行っているが、現状では水田農業の転作物という観点からの助成対応がほとんどの状況であり、畑地での作付け者から「なんとかならねべが」と言う声も出ている。

頑張る農業者を応援しブランド品目の確立を目指す観点から、支援すべきと考える。

また、ブランド品目出荷助成についても、菌床シイタケや寒締めホウレンソウ、あるいは促成ア

スパラ栽培など、1月から3月までの出荷に一生懸命取り組んでおられる方々もおり、ぜひ支援していくべきと思うが。

町長 畑地での生産については、水田を畑地として利用する場合に比べて困難な点が少なく、より有利な作物選定や栽培技術の導入が可能であることなどから、助成策などは検討していないが、生産対策の一環として今後農業団体などの取り組みを把握し、行政がお手伝いできる部分があるかど

うかを議論する。

また、出荷助成については、国から交付される産地づくり交付金を財源にしている関係から、1月から3月の出荷は、事業対象から外れる。

また、昨年までは県の単独事業である「地域でつくる水田農業支援事業」を活用して出荷助成をしていたが、今年度は事業の組み換えから、昨年までのような助成が難しい状況となっており、町としては、これまでと同様の助成ができないか、県に検討をお願いしている。

地域案内所の設置を 従業員教育を行っている

中村利昭議員 美郷町観光協会が主催の、町おこしに関する懇談会が開催された。その中では清水を観光の目玉としてとらえているようだ。町長も施政方針で自然にやさしい町づくりを目指し、水環境保全の理解と協力を得られる啓発条例の年度内制定を目標に掲げている。しかし、短期的に解決できる問題ではなく時間を要するものと思う。そこで、清水に代わる観光の目玉が必要と考える。幸いこの地域には数多くの寺院があり、その中から数カ所選定し美郷観光のシンボルとしての事業が可能と思う。

次に、道の駅「雁の里せんなん」が果たす役割は大変重要と思うが、これといった目玉がない。横手市と協議し近くにある「後三年の役金沢資料館」と「観光農園」やその他の施設を合わせて移設することが出来るか。



来ないか。そして、現在ある「まごころハウス」、「曲がり家」の使用源を再認識しそれを結びつけていく取り組みをする。六郷地区の寺院について、観光客が来場できる場所の確保に努めるべきだ。また、施設全体を有効的に活用するため、道路情報施設と公衆トイレの間に、地域案内所を設置できないか。

町長 地域活性化につなげていくため、既存観光スポット同士の結び付けや、新たな観光スポット掘り起こしが必要と思う。そのため、今年度「発見、美しい美郷の風景10選コンテスト」を実施した。今後、隠れた観光資源の発見と、既存の観光資源を再認識しそれを結びつけていく取り組みをする。

では町として何ら権利を有していないので具体的な答弁は差し控えたい。次に、道の駅については周辺各地の観光案内を紹介するパンフレットの備え付けや、案内所として玄関に看板を設置しているほか、道の駅独自の

パンフレットも作成し、さらに、観光紹介する従業員教育も行っているのでも、地域案内としての機能は有しているものと認識している。なお、近隣市が所有する施設の移転については、私の立場では答弁できかねる。

町営住宅の管理は 適正な維持管理を望む

中村議員 最近、町営住宅を訪問する機会があり順次廻っていく中で感じたことがある。玄関口や、外観だけで判断するのは適当ではないかと思うが、明らかに適切な使い方がなされていない場所が見受けられた。管理のあり方について所轄の課で定期的に巡回しているのか、自主的管理に委ねているのか伺う。

町長 町営住宅の入居者は、住宅および建物の敷地に必要な注意を払い、これを正常な状態で維持することを義務付けている。一方、町では公営の賃貸住宅として適正な状態に整備する責務がある。巡回については、不定期ではあるが担当課で巡回している。昨年度は9回巡回した。



中村利昭議員

議員全員で 執行状況を 確認

町内主要事業視察研修会



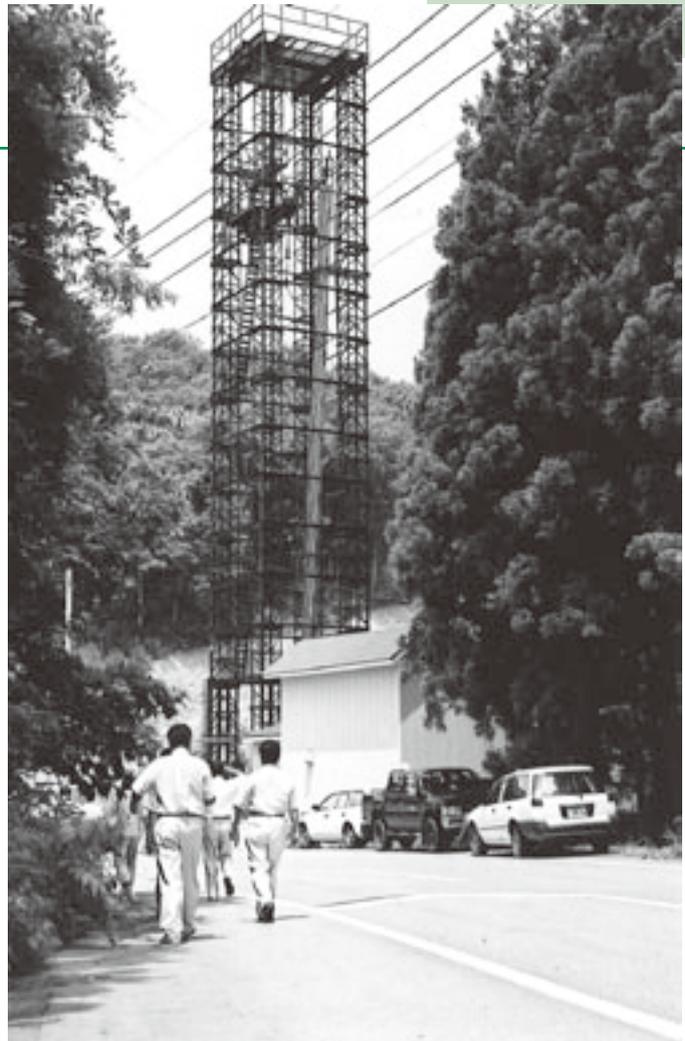
6月28日、公共施設・主要事業視察研修会を行い、視察結果については、意見書を提出しました。

湯とびあ雁の里温泉

- 契約内容に沿って必要な揚湯量が確保できるよう工事を進めてほしい。

湯とびあ雁の里温泉 源泉掘削工事概要

1. 事業名
湯とびあ雁の里温泉機能維持事業
2. 事業内容
源泉掘削工事 掘削深度 1,000 m以上
揚湯量 毎分 90 ㍓以上
揚湯温度 40℃以上
3. 事業費 51,450,000 円



堆肥センター建設工事



- 施設まで道路の勾配がきつかったり、道幅が狭かったりする箇所があるため、アクセス道路の整備について検討してほしい。
- 建設後に試運転期間があるので本格稼働に向けて万全を期してほしい。

堆肥センター建設工事概要

1. 事業名
畜産環境総合整備統合補助事業
2. 事業内容
家畜排泄物処理施設建設
建築面積 4,360 m²
排泄物処理量 19.7 t/日
堆肥生産量 3,000 t/年
3. 事業費 424,000,000 円

大台野広場 パーク・マレットゴルフ場

- マレットゴルフの利用者が少ないので、議員も率先して普及に努めるが、町でも広く PR してほしい。

パーク・マレットゴルフ場 整備工事概要

1. 事業名
千畑カントリーパーク整備事業
2. 事業内容
パーク・マレットゴルフ場整備
整備面積 11,000 m²
コース面積(9ホール) 5,330 m²
3. 事業費 47,002,000 円
4. その他
駐車場整備 900 m²
駐車台数 30 台、うち車いす専用 2 台



六郷温泉 あったか山

ふれあい広場 (サテライト 六郷隣接)



千畑スキー場敷地の 町有財産

- 土地賃貸借契約書に基づき、現状復帰して返還するよう強く望む。



キラリ美郷人 VOL.7



モノポリー(独占)は、世界中に5億人の愛好者がいるといわれるアメリカ生まれのボードゲームで、盤上を周回して不動産を取引しながら資産の独占を目指します。

オリジナル版のマス目は、発祥地アトランティック・シティの地名で構成されますが、それを秋田県の市町村名に置き換えた全国初の都道府県版を開発・販売している方がシステムエンジニアの鈴木正洋さん(39歳)です。

鈴木さんが、お友達の千葉尚志さ

ジェンコが飛び交うモノポリー



鈴木 正洋さん
(美郷町六郷在住)

ん(秋田市在住)と共同で製作した遊べる秋田名物『モノポリー秋田県版』は、細部にまで郷土愛が感じられる仕上がりです。駒が秋田犬、家がかまくら、ホテルが秋田杉を使用した旅館となっており、使用するお札の通貨単位が『ジェンコ』でカードの文章も全て秋田弁。マス目は、市町村を代表する風物がきり絵でデザインされています。ちなみに、美郷町は利権の鍵の一つ『水』(水道会社)でした。

こんなに秋田にこだわったモノポリーですが、鈴木さんは、秋田の活性化や地域興しを意図したわけではな

編集後記



ラベンダーやアヤメに代わり、アジサイが私たちの目を楽ませてくれる今日この頃です。

議会広報の委員も、交代の時期を迎えました。9月定例会号から、新たに選任された委員が担当します。お楽しみに。

これまで、合併美郷町の広報・公聴の一翼を担えるよう、委員全員で努力してまいりましたが、いたらぬ点を深謝し、ご愛読に感謝申し上げます。



議長	伊藤 久	同委員	鈴木 良勝
広報委員長	吉野 隆一	同委員	森元 淑雄
同副委員長	杉澤 隆一	同委員	深沢 義一
同委員	熊谷 隆一		

次回定例会は、9月上旬の開会を予定しています。傍聴をお待ちしています。

問合せ先

アキタス有限責任事業組合
☎018-864-7007
<http://www.ugopoly.com/>

いといえます。しかし、昨年度のモノポリー全国大会でこの『秋田県版』ボードが使用され、大会会場のあちらこちらでジェンコや秋田弁が飛び交い、プレーヤー全てが秋田の独占を目指したことを想像すれば、間違いなく、秋田の活性化に結びついていくといえるでしょう。